

## ■これまでの歩み（沿革）

株式会社ジャロックは、主に工業用保管棚、物流搬送荷役機器の製造、販売、据付けを行う会社として1963年に創業した企業です。これまで日本の製造業が、ムダを徹底的に排除し生産効率を上げコスト競争力を持たせていく中で、我々は物流の側面から改善提案する事で貢献してきました。例えば、日本を代表する自動車メーカーからは「増え続ける補給部品の効率的管理」や「相次ぐ新車の生産と販売に1台8万点から10万点と言われる補給パーツの複数車種・複数年管理」の効率化管理の依頼を受けるなどして常に製造現場や物流現場への改善と提案に努め、お客様と共に歩んで参りました。

## ■変化する環境と物流現場の今

従来の倉庫は、原材料や製品などを大ロットで大量に保管し工場や問屋へ一斉に出荷する事が主流となっていました。つまり、「大ロット・大量生産」の「生産物流」が主流の時代でした。この為、荷役作業員やリフトマンは少ない人数で現場作業を回す事ができる時代でした。ところが、昨今ネット通販の普及と拡大により消費者の購買行動やニーズが多様化し、倉庫は多品種・小ロット保管が必要となり物流現場の運用も、より迅速な荷捌きと出荷が求められる「消費物流」の時代へとパラダイムシフトしてきました。これにより、物流センターは、何万、何十万点という商品が在庫され注文が入った商品は瞬時にピッキング・出荷されていきます。又、消費者が求めるスピード感も変わり1日でも、1時間でも早く届けられる事に満足感を得る傾向へと変化してきました。

この事から、倉庫保管効率を上げ、出荷スピードに対応した機能が求められ、これに適した物流機器が求められる時代へと大きく様変わりしてきました。又、少子高齢化による現場の人手不足が叫ばれる中、時代のニーズにマッチした物流機器を取り揃え、物流現場をデザインし変革をもたらす事が重要となってきます。我々ジャロックグループも、この物流環境の変化に伴い、単に物流機器を販売する「モノ売り」企業ではなく、当社が持つ製品と提案力を用いて、空間と作業効率を最大限にまで高め現場ソリューションを提供していく「コト売り」企業として御お客様のご要望にお応えしていきます。

## ■企業使命

ジャロックグループは「Logistics for the future.」というスローガンのもと、物流業界を中心とした日本社会へ貢献していきたいと考えております。また、ジャロックグループは営利だけを追求する企業ではなく、社会を構成する一員として地球環境にも貢献をしていきます。その為、2007年に初めて、環境マネジメントシステムに関する国際規格ISO14001を取得し、常に「環境保全」、「リサイクル」、「省エネルギー」、「廃棄物有効利用」、「省資源」の観点から、お客様に最適な物流機器を設計・開発・販売することを誓って歩んで参りました。あれから早14年、ISOの取得だけに満足することなく、昨今、国際社会に求められているSDGs（持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals）の概念にも賛同し、我々が貢献できるエネルギーの効率化や持続性を意識した製品作り、そしてまた、社内外のあらゆる人々との価値を協創できる関係作りにこれからも邁進して行く所存です。